

抽出案件回答用紙

令和4年9月7日

市川市財政部契約課 皆田・及川宛 (FAX 047-712-8757)

氏名 川村 延彦

令和4年度第1回市川市入札監視委員会における審議案件として、次の2件を抽出する旨回答します。

<input checked="" type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> 委託 No.	2	<input type="checkbox"/> 工事 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 No.	22
--	---	--	----

(選んだ理由をご記入ください)

No. ( 2 )

---

予定価格 (税込) 232,430,000 円のスポーツセンター競技場整備工事 (舗装工事)

---

の案件であるが、「入札結果」によれば、日本フィールドシステム(株)外9社が入札業者として参加している。

---

1. 「入札結果」欄に「※低入札価格調査委員会における審査の結果」とあるが、同調査委員会の調査経緯を知りたい。

---

2. 調査基準価格 (税込) 209,884,000 円のところ、日本フィールドシステム(株)にて160,640,000 円 (対予定価格率 69.11%) と極めて低い「落札」と思われる。

---

落札者の入札額が低額であったことの原因が判れば知りたい。また、その後、同社の工事履行状況に問題がなかったか知りたい。

---

---

---

---

No. ( 22 )

---

予定価格(税込) 23,160,000 円の「市川第 5-2 処理分区実施設計業務委託 (R0230)」の案件であるが、入札参加業者が(株)ニュージェック外 64 社と最も多く参加されている。

---

1. 本案件に計 65 社も入札参加が集中した理由は何か。

---

2. 参加業者 65 社中、55 社 (85%弱) が入札額 18,412,000 円 (最低制限価格) 対予定予定価格率 79.50%を申し入れ、「くじ」による落札の決定がされている。

---

「最低制限価格」の設定につき問題は無かったと言えるか。

---

3. 「くじ」による落札者決定の経緯を知りたい。また、「くじ」による落札者決定の方法及び入札参加者の評価 (不満の有無) について知りたい。

---

回答用紙

件名 市川市スポーツセンター陸上競技場整備工事

整理番号 工事 2                      回答 スポーツ課、契約課

(審議案件抽出理由)

予定価格(税込) 232,430,000 円のスポーツセンター競技場整備工  
事(舗装工事)の案件であるが、「入札結果」によれば、日本フィール  
ドシステム(株)外 9 社が入札業者として参加している。

1. 「入札結果」欄に「※低入札価格調査委員会における審査の結果」  
とあるが、同調査委員会の調査経緯を知りたい。

2. 調査基準価格(税込) 209,884,000 円のところ、日本フィールドシ  
ステム(株)にて 160,640,000 円(対予定価格率 69.11%) と極めて低い  
「落札」と思われる。

落札者の入札額が低額であったことの理由が判れば知りたい。また、  
その後、同社の工事履行状況に問題がなかったか知りたい。

(回答)

1. 令和3年7月15日に行われた入札の結果、入札額(税抜き)が  
調査基準価格を下回る金額であったため、「市川市低入札価格調査制度  
に関する要綱」に基づき契約内容に適合した履行がなされるか調査を

行い、第一順位の入札者に対してヒアリングを実施し、当該価格で入札した積算根拠、工事の品質確保、下請業者や労働者へのしわ寄せが生じるおそれの有無及び安全管理上の問題が生じるおそれの有無などを中心に確認を行い、「市川市低入札価格調査委員会」にて審査を行った結果、調査対象者は本陸上競技場のウレタン舗装新設及び複数回のウレタン舗装修繕工事の実績があり、品質に問題は生じておりませんでした。

ウレタン舗装及び人工芝舗装等の使用材料は、市が想定している製品と同等品以上のものであることを確認しました。施工について、市積算を上回る積算をしていること、使用材料が安価に購入できること、作業に熟練した自社職員・協力業者により効率的に行えることから、施行の主な作業である測量とマーキング時の型枠作業を自社職員及び協力業者で無理なく履行できることを確認しました。

また、共通仮設費(率計上分)の内訳書内、「品質管理のための試験等に要する費用」においてウレタン舗装、人工芝の品質試験費用が計上されていることを確認しました。

以上のことから工事の品質確保ができると判断しました。

下請業者や労働者へのしわ寄せが生じるおそれの有無については、工事金額の大きい、ウレタン舗装及び人工芝について、材料費を抑えられた理由と施工費用が十分確保されていること、施工体制が二次下

請までとなっており、下請けの重層化がないこと、配置予定技術者の賃金台帳の写しの提出を受け、賃金及び法定福利費が現場管理費に適切に計上されていることを確認しました。

以上のことから下請業者や労働者へのしわ寄せが生じるおそれがないと判断しました。

安全管理上の問題が生じるおそれの有無については、共通仮設費(率計上)内訳書に、「表示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料」が計上されていること、交通誘導警備員が十分に確保されていることを確認しました。また、調査対象者は本陸上競技場での複数回の工事実績があるため、現場状況については良く把握していました。

以上のことから安全管理上の問題が生じるおそれがないと判断しました。

これらにより、当該工事内容に適合した履行がなされると判断し、「市川市低入札価格調査委員会」での審査を経て、調査対象者を落札者とすることを決定いたしました。

2. 落札者の入札額が低額であったことの主な要因としましては、「ウレタン舗装工」「レーンライン・カラーマーキング工」「人工芝工」における直接工事費が低く見積もられているものです。受注者が安価な見積りでできた理由としまして、主に「ウレタン舗装工」及び「レーン

ライン・カラーマーキング工」は、自社製品を製造メーカーの代理店から直接購入することによる材料費の削減が図られるものです。また、「レーンライン・カラーマーキング工」においては、現場管理費で費用が計上されている元請職員が測量、型枠移動等の施工を行うことで下請業者の作業量を削減したものです。「人工芝工」については、メーカーの企業努力により削減されたものです。

なお、契約後の施工につきましては、適切な工程管理により円滑に実施され、近隣からの苦情等もなく竣工し、改修目的である公益財団法人日本陸上競技連盟の公認検定に合格し、公認陸上競技場として更新手続きを完了しております。

回答用紙

件名 市川第5-2処理分区実施設計業務委託（R0230）

整理番号 委託22                      回答 河川・下水道建設課、契約課

（審議案件抽出理由）

予定価格（税込）23,160,000円の「市川第5-2処理分区実施設計業務委託（R0230）」の案件であるが、入札参加業者が(株)ニュージェック外64社と最も多く参加されている。

1. 本案件に計65社も入札参加が集中した理由は何か。

2. 参加業者65社中、55社（85%弱）が入札額18,412,000円（最低制限価格）対予定予定価格率79.50%を申し入れ、「くじ」による落札の決定がされている。

「最低制限価格」の設定につき問題は無かったと言えるか。

3. 「くじ」による落札者決定の経緯を知りたい。また、「くじ」による落札者決定の方法及び入札参加者の評価（不満の有無）について知りたい。

（回答）

1. 同じ時期に発注いたしました実施設計業務委託への入札参加数は、平均約60社となっております。また、ご指摘の案件以外にも60社以上の入札参加のあった案件が他にも複数あったことから、本案件へ

の入札参加が集中したとは考えておりません。

2. 最低制限価格の設定につきましては、「市川市低入札価格調査制度に関する要綱」に基づき設定し、かつ当該要綱を公表しております。

また、積算に用いる労務費等につきましても、国土交通省及び千葉県から公表されているものであるため、最低制限価格の設定は適切であると考えております。

3. 電子くじにつきましては、本市は電子入札を平成 18 年度より実施しており、同額の入札があった場合に電子くじを行っています。

落札者の決定の方法につきましては、別紙参考例をご参考願います。

事業者は入札する際に、入札金額と、ウの 3 桁の任意の「くじ番号」を入力し、入札金額の内訳書データを添付し、入札書の提出を行います。

このとき、電子入札システムの画面では、事業者が「入札書提出」のボタンを押すことで、入札の登録が完了し、エの「入札書提出日時」が確定します。

ウの「入力くじ番号」とエの「入札書提出日時のミリ秒」を合計したものが、オの「確定くじ番号」となり、資料のように同額の入札がなされたときに電子くじの根拠となります。なお、事業者においては入札したときのミリ秒は分かりません。

アのとおり、入札した事業者順に 0、1、2 と番号が割当てられ、入札



した全事業者の「確定くじ番号」の総和「2,389」を、入札した事業者数「4」で割り、余りの数と入札書提出順に割当てられた番号が一致した事業者が落札者となります。

今回の例では、余りが「1」となりますので、No.1のAが落札者になります。

また、くじによる落札者決定に関して、業者等より不満他ご意見をいただいたことはありません。

**【参考】電子くじの実施件数**

令和4年度 24件（うち工事1件、コンサル23件） ← 上半期（4～9月）開札分

令和3年度 30件（うち工事1件、コンサル29件）

抽出案件回答用紙

令和4年9月14日

市川市財政部契約課 皆田・及川宛 (FAX 047-712-8757)

氏名  染野 光宏

令和4年度第1回市川市入札監視委員会における審議案件として、次の2件を抽出する旨回答します。

<input checked="" type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> 委託 No.	2	<input type="checkbox"/> 工事 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 No.	2
--	---	--	---

(選んだ理由をご記入ください)

No. ( 2 )

低入札価格調査制度の適用案件。

対予定価格率が「69.11%」と低い理由を説明願いたい。

低入札価格調査委員会の調査結果の内容を説明願いたい。

No. ( 2 )

公募型プロポーザル方式による公告から選考過程及び随意契約の締結までの経緯について説明願いたい。

なお、応募者の数について、参考までに教えてください。

回答用紙

件名 市川市スポーツセンター陸上競技場整備工事

整理番号 工事 2 回答 スポーツ課、契約課

(審議案件抽出理由)

低入札価格調査制度の適用案件。対予定価格率が「69.11%」と低い理由を説明願いたい。

低入札価格調査委員会の調査結果の内容を説明願いたい。

(回答)

対予定価格率が低くなった主な理由としまして、ウレタン舗装工(陸上トラック)、インフィールド人工芝舗装工は、使用材料が安価に購入できること、またレーンライン・カラーマーキング工は、使用材料が安価に購入できること、作業に熟練した自社職員・協力業者により効率的に行えることによるものです。

ウレタン舗装及び人工芝舗装等の使用材料は、市が想定している製品と同等品以上のものであることを確認しました。施工について、市積算を上回る積算をしていること、使用材料が安価に購入できること、作業に熟練した自社職員・協力業者により効率的に行えることから、  
施行の主な作業である測量とマーキング時の型枠作業を自社職員及び

協力業者で無理なく履行できることを確認しました。

また、共通仮設費(率計上分)の内訳書内、「品質管理のための試験等に要する費用」においてウレタン舗装、人工芝の品質試験費用が計上されていることを確認しました。

以上のことから工事の品質確保ができると判断しました。

下請業者や労働者へのしわ寄せが生じるおそれの有無については、工事金額の大きい、ウレタン舗装及び人工芝について、材料費を抑えられた理由と施工費用が十分確保されていること、施工体制が二次下請までとなっており、下請けの重層化がないこと、配置予定技術者の賃金台帳の写しの提出を受け、賃金及び法定福利費が現場管理費に適切に計上されていることを確認しました。

以上のことから下請業者や労働者へのしわ寄せが生じるおそれがないと判断しました。

安全管理上の問題が生じるおそれの有無については、共通仮設費(率計上)内訳書に、「表示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料」が計上されていること、交通誘導警備員が十分に確保されていることを確認しました。また、調査対象者は本陸上競技場での複数回の工事実績があるため、現場状況については良く把握していました。

以上のことから安全管理上の問題が生じるおそれがないと判断しま

した。

これらにより、当該工事内容に適合した履行がなされると判断し、  
「市川市低入札価格調査委員会」での審査を経て、調査対象者を落札  
者とすることを決定いたしました。

回答用紙

件名 市川市北方地区公共下水道整備事業設計及び工事監理業務委託

整理番号 委託 2

回答 河川・下水道建設課

(審議案件抽出理由)

公募型プロポーザル方式による公告から選考過程及び随意契約の締結までの経緯について説明願いたい。

なお、応募者の数について、参考までに教えてください。

(回答)

公告から選考過程及び委託契約締結までの経緯につきまして、まず入札事務改善検討委員会において設計施工一括発注方式で実施することについて審査し、その後、資格審査会にて企業グループの構成、また、応募要件について審査いたしました。

その後、実施方針（案）の公表を行い、事業の概要、資格要件、スケジュールの公表を行いました。実施方針（案）の公表後、質疑受付の後に、再度資格審査会にて実施方針の公表に向け、募集要領に記載した評価項目の審査を行い、実施方針の公表を行いました。

その後の経緯につきましては、以下のとおりです。

(1) 募集要領および公告文の公表

(2) 応募者資格審査書類受付：応募者が応募要件を満たしていることを確認

(3) 確認通知送付：応募者へ応募の可否を通知

(4) 技術提案の受付：応募者から技術提案の提出

(5) 第1回選定委員会：選定委員会に評価項目、審査内容を説明

(6) 第2回選定委員会：プレゼンテーションの実施および優先交渉権者の選定

(7) 資格審査会：優先交渉権者の特定

なお、応募者から提出の技術提案において、主に工期短縮の取り組みに関して優れていたため、優先交渉権者として特定しました。

(8) 基本協定の締結

(9) 優先交渉権者と仕様に関する協議

(10) 見積合せ

(11) 設計および工事監理委託の契約締結

また、当該事業への応募者は1グループでした。

抽出案件回答用紙

令和4年9月20日

市川市財政部契約課 皆田・及川宛 (FAX 047-712-8757)

氏名 栗林 隆

令和3年度第1回市川市入札監視委員会における審議案件として、次の2件を抽出する旨回答します。

<input checked="" type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> 委託 No.	148	<input type="checkbox"/> 工事 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 No.	6
--	-----	--	---

(選んだ理由をご記入ください)

No. ( 148 )

予定価格 9,150,000 円の土木工事である。10,000,000 円に満たない比較的安価な  
本件工事を総合評価一般競争入札とした理由を知りたい。

3 社の入札があり、落札業者と第 3 位の業者の入札価格は僅か 3,000 円の差であっ  
たが総合評価における評価値では大きな差がついている。

以上を踏まえて、総合評価のプロセスの詳細をヒアリングし検証したい。

No. ( 6 )

予定価格 26,960,000 円の土木設計である。62 社の入札があったが、内 43 社が最  
低制限価格の 21,433,000 円であり、くじで落札者を決めている。まず、入札の種類  
が一般（事後）となっている理由と仕組みを知りたい。また、積算の方法が公開され  
ていることを踏まえても、入札制度の公正観点から最低制限価格が安易に算出できる



---

点に課題があるように思う。

---

回答用紙

件名 L型側溝補修工事

整理番号 工事 148 回答 技術管理課

(審議案件抽出理由)

予定価格 9,150,000 円の土木工事である。10,000,000 円に満たない比較的安価な 本件工事を総合評価一般競争入札とした理由を知りたい。

3 社の入札があり、落札業者と第 3 位の業者の入札価格は僅か 3,000 円の差であったが総合評価における評価値では大きな差がついている。以上を踏まえて、総合評価のプロセスの詳細をヒアリングし検証したい。

(回答)

まず、本工事を総合評価一般競争入札とした理由について説明します。

工事の契約方法については、工事担当課、技術管理課、契約課が協議して決定しています。その際、本市では、原則として設計金額が 1 億円を超える建設工事、または、設計金額が 5 千万円を超える国費等の交付対象である建設工事を総合評価競争入札の対象としています。

一方、公共工事の品質確保の促進に関する法律において、「公共工事は価格及び品質が総合的に優れた内容の契約を行う」とされているため、その手法である総合評価競争入札のノウハウは、全庁的に継承する必要があることから、本市では、各担当課が1案件以上において総合評価競争入札を行うこととしており、河川・下水道管理課の案件としては本工事を令和3年度の総合評価競争入札の案件としたところです。

次に、総合評価一般競争入札のプロセスについて説明します。

総合評価一般競争入札の手続きには、「入札公告までの段階」及び「落札者を決定する段階」という、大きく分けて2つの段階があります。

まず、「入札公告までの段階」では、落札者決定基準という公告に示す出題の内容を審査・決定します。本工事では、発注担当課が作成した「落札者決定基準」を、庁内の総合評価審査委員会に報告し、学識経験者の意見聴取を行い、財政部長の決裁に諮ったうえで決定し、令和3年6月4日に公告を行い、入札参加者を募りました。

「落札者を決定する段階」では、入札参加者から提出された技術資料を評価した内容と評価点を審査・決定します。本工事では、発注担当課が評価した内容と評価点を、総合評価審査委員会に報告し、財政部長の決裁に諮ったうえで決定し、開札を実施し、価格と技術評価点による総合評価を行っております。

このように、総合評価競争入札においては、複数の審査を行う、慎

重な手続きによって落札者の決定に至るプロセスとなっております。

総合評価における評価値については、各入札参加者の技術評価点を  
入札金額で除して算出し、各入札参加者の評価値を比較し、その値が  
大きな入札参加者が落札者となります。

第 1 順位となった英真建設株式会社と第 3 順位となったエイワ建商  
株式会社の入札金額の差は 3 千円でしたが、技術評価点に 16 点の差が  
あり、「 $\text{技術評価点} \div \text{入札価格} \times 10^6$ 」にて算出する評価値については、  
英真建設株式会社が 14.5、エイワ建商株式会社が 12.5 となり、それぞ  
れの入札金額及び技術評価点に応じて相対的な差が生じたものです。

回答用紙

件名 市川第4-4処理分区実施設計業務委託（R0220）

整理番号 委託6                      回答 契約課、技術管理課

（審議案件抽出理由）

予定価格 26,960,000 円の土木設計である。62 社の入札があったが、  
内 43 社が最低制限価格の 21,433,000 円であり、くじで落札者を決め  
ている。まず、入札の種類が一般（事後）となっている理由と仕組み  
を知りたい。また、積算の方法が公開されていることを踏まえても、  
入札制度の公正観点から最低制限価格が安易に算出できる点に課題が  
あるように思う。

（回答）

本件において事後審査型一般競争入札とした理由といたしましては、  
事後審査型一般競争入札につきまして、「市川市事後審査型一般競争入  
札実施要領」にて「1 件当たりの設計金額が 50 万円を超える建設工事  
に関連する業務委託のうち、市長が定めるものとする。」と対象を定め  
ております。本件につきましては、設計金額 26,960,000 円の工事に関  
連する業務委託であることから、事後審査型一般競争入札としたもの  
です。

また、事後審査の具体的手順につきましては、公告を行い、公告期間の後に質疑回答を経て、入札書の受付をいたします。

その後、開札を行い、落札候補者を決定し、電子入札システムにより入札に参加した者全員に落札保留の通知をいたします。なお、最低価格申込者が 2 人以上ある場合は電子入札システムにより電子くじを実施し、落札候補者を決定いたします。

開札後は落札候補者に対し、落札候補者となった旨を速やかに連絡し、該当する案件の公告に示す入札参加資格確認審査書類等（以下「確認書類等」といいます。）の提出を求め、入札参加資格の審査を行います。ただし、落札候補者が当該入札参加資格要件を満たしていない場合は、次順位者から確認書類等の提出を求め、入札参加資格を満たしている者が確認できるまで審査を行います。

審査の結果、落札候補者が入札参加資格要件を満たしていると判断したときは、当該落札候補者を落札者に決定いたします。なお、入札参加資格要件を満たしていないと判断した場合は、その旨を事後審査型一般競争入札参加不適合通知書により当該落札候補者に通知するものとしております。

当該業務委託は下水道（汚水）施設の実施設計を行うものであり、積算に当っては、公益財団法人日本下水道協会が発行する「下水道用設計標準歩掛表」に基づくことが定められております。この書籍は一

般に販売されているものであり、積算に用いる技術者の労務費等につ  
きましても、国土交通省及び千葉県から公表されているものでありま  
す。また、最低制限価格につきましても、「市川市低入札価格調査制度  
に関する要綱」を公表しております。

従いまして、下水道整備事業の設計業務等の委託費については、当  
該事業に精通している者であれば、精度よく積算可能であり、また最  
低制限価格の算出も可能と思われます。

「最低制限価格が安易に算出可能である状況は公正の観点から課題で  
ある」とのご指摘であります。まず、下水道整備事業は、公共事業  
であるため、確立された基準に従い、定められた積算手法を適用する  
ことが必要であります。あわせて、国費を活用するため、会計検査院  
の現地検査の対象であり、積算において準拠した基準について説明責  
任が求められます。このことから、確立された基準に従い、定めら  
れた積算手法を適用することが特に重要になります。最低制限価格の  
算出についても国の通知に従って設定しているものであり、本市独自  
の基準等を設けることは難しいものと認識しております。なお、設計  
業務委託費の積算は決して簡単ではなく、当該事業に精通している事  
業者だけが参加することから、精度よい見積りが可能になっていると  
推察しています。

以上のことから、入札制度における公平性、適法性、経済性等を鑑

みますと、積算基準及び最低制限価格の設定は適切であると考えてい  
るところです。



## 市川市入札監視委員会 意見書

令和4年9月24日

氏名 川村 延彦

「競争参加資格停止情報」の報告については、格別、意見はありません。

今般の入札案件ではないが、2020年4月に浅沼組が、市川市立塩浜学園校舎等取壊し工事（以下、本工事）を4億3670万円で落札したとする案件について、前市長の私設秘書であった押切裕雄が、市長から入札情報を得て、浅沼組ら関係者に教えたとして「競争入札妨害罪」問われ、千葉地検より2022年8月16日に起訴（公判請求）されたとの新聞報道がありました。

1. 本件に関して、「市川市」として、何らかの「調査」をした事実があるのか、有れば、その経緯、顛末を開示してもらいたい。
2. また、「調査」等をしていない場合は、その理由を知りたい。

(意見内容)

今般の入札案件ではないが、2020年4月に浅沼組が、市川市立塩浜学園校舎等取壊し工事（以下、本工事）を4億3670万円で落札したとする案件について、前市長の私設秘書であった押切裕雄が、市長から入札情報を得て、浅沼組ら関係者に教えたとして「競争入札妨害罪」問われ、千葉地検より2022年8月16日に起訴（公判請求）されたとの新聞報道がありました。

本件に関して、「市川市」として、何らかの「調査」をした事実があるのか、有れば、その経緯、顛末を開示してもらいたい。また、「調査」等をしていない場合は、その理由を知りたい。

(回答)

本件につきましては、市川市として独自の調査は実施しておりません。千葉県警察により別途捜査が行われておりましたことから、本市による独自の調査は実施しなかったものです。

## 市川市入札監視委員会 意見書

令和4年9月14日

氏名 染野 光宏

発注建設工事等一覧、競争参加資格停止一覧表については、特に意見はありません。

# 市川市入札監視委員会 意見書

令和4年9月20日

氏名 栗林 隆

意見はありません。

市川市入札監視委員会 意見書

令和4年11月14日

氏名 川村 延彦

意見及び不明な点は格別ありません。

# 市川市入札監視委員会 意見書

令和4年11月4日

氏名                      染野 光宏                     

回答に対し、意見等はありません。  
ありがとうございました。

市川市入札監視委員会 意見書

令和4年11月7日

氏名 栗林 隆

意見はありません。